# 大田市新庁舎整備 基本計画の概要と 基本設計の検討状況について

R7.1大田市役所新庁舎・子育て拠点施設 整備に関する説明会資料

# 基本計画の概要について

### 新庁舎整備の基本理念と基本方針

### 基本理念:共創による持続可能なまちをめざす拠点づくり

1 市民の利便性が高く 共生・協働の場となる庁舎

- ●市民がサービスを受けやすく機能的・効率的
- ●市民が集いやすく、交流しやすい場
- ●地域との連携によるまちづくりの拠点

2 安全・安心で災害時に 強い庁舎づくり

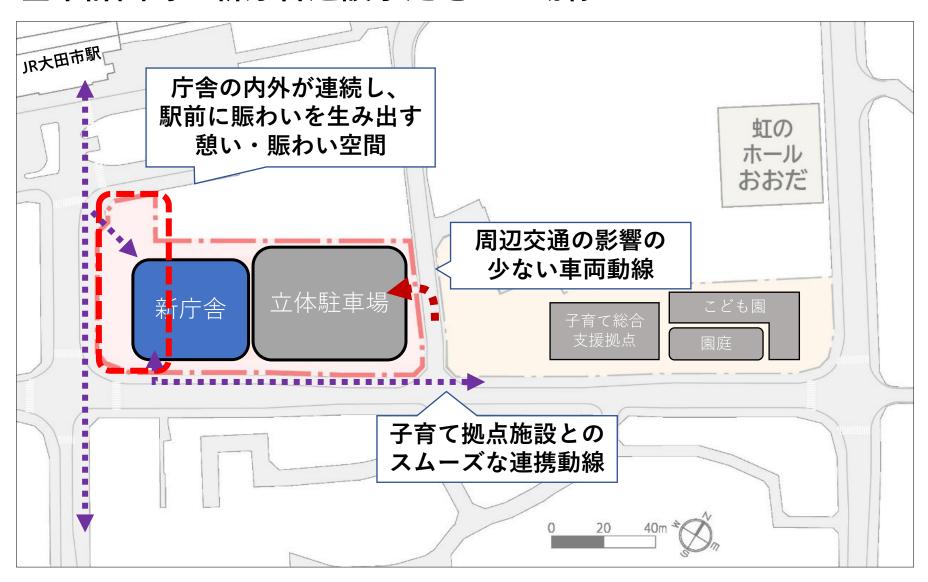
- ●災害時の対策拠点を担える庁舎
- ●地震、水害などの災害に強い庁舎
- ●感染症等の不測の事態に対応しやすい庁舎

- 3 人や環境にやさしい庁舎づくり
- ●来庁者がわかりやすい動線を確保した庁舎
- ●ユニバーサルデザインによるだれもが利用しやすい庁舎
- ●再生可能エネルギー利用などによる環境にやさしい庁舎
- ●自然環境を活かした省エネルギーを実現する庁舎

4 行財政改革の実現に 貢献する庁舎づくり

- ●職員同士のコミュニケーションが活性化する働きやすい庁舎
- ●DXの推進にむけて、柔軟に対応できる庁舎
- ●経済性とのバランスに配慮した庁舎
- 市民に親しまれ、大田らしさが 感じられる庁舎
- ●駅前の新たな顔としてふさわしいシンボルとしての庁舎
- ●さらなる大田らしさを創造していく拠点としての庁舎

## 基本計画時の新庁舎建設予定地と主動線



## 基本計画上の概算事業費(R6.3時点)

項目	金額(税込)
用地取得費	約0.4億円
設計・監理費	約3.3億円
庁舎建設工事費	約62.0億円
立体駐車場建設費	約8.0億円
外構整備費	約1.2億円
その他	約6.1億円
合 計	約81.0億円
想定面積	8,200m²

## 事業スケジュール

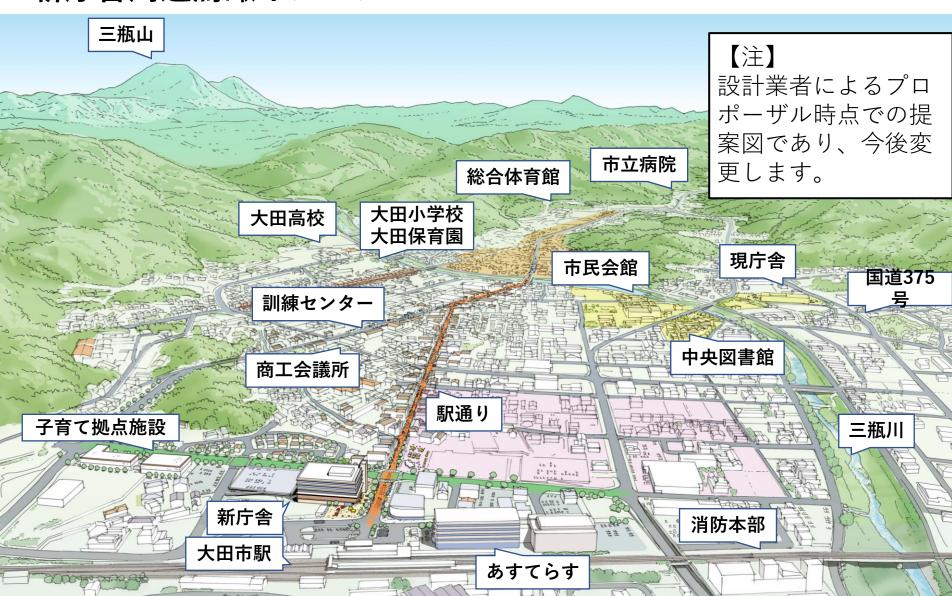


# 基本設計の検討状況について

# 基本設計にかかる契約状況

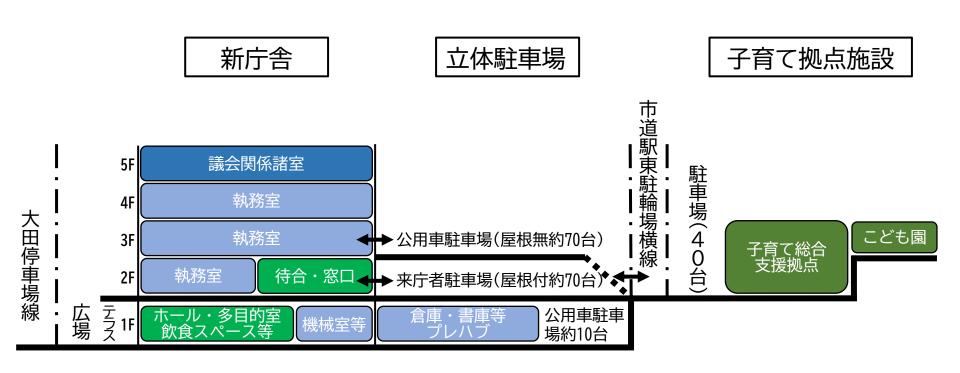
項目	内容
契約先	佐藤総合計画・コラム建築設計事務所 設計業務特別共同体
契約期間	令和6年10月8日~令和8年3月31日
契約金額	50,600千円(税込)
業務内容	①基本設計業務 ②概算工事費の積算 ③会議運営支援

### 新庁舎周辺鳥瞰イメージ

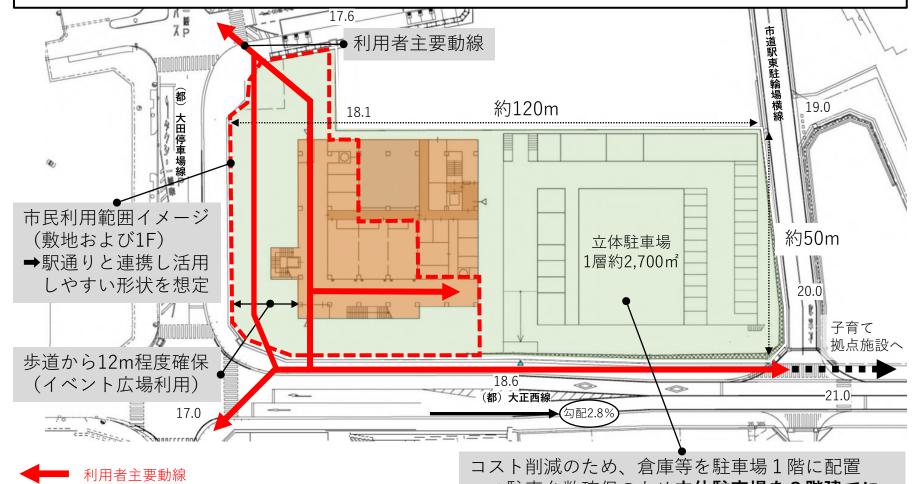


#### 階層イメージ

- ・庁舎は5階建て、立体駐車場は3階建て
- ・庁舎2階に市民窓口を設置し、 駐車場2階を来庁者用として直接アクセス可能に
- ・1階に市民利用のスペースを設置

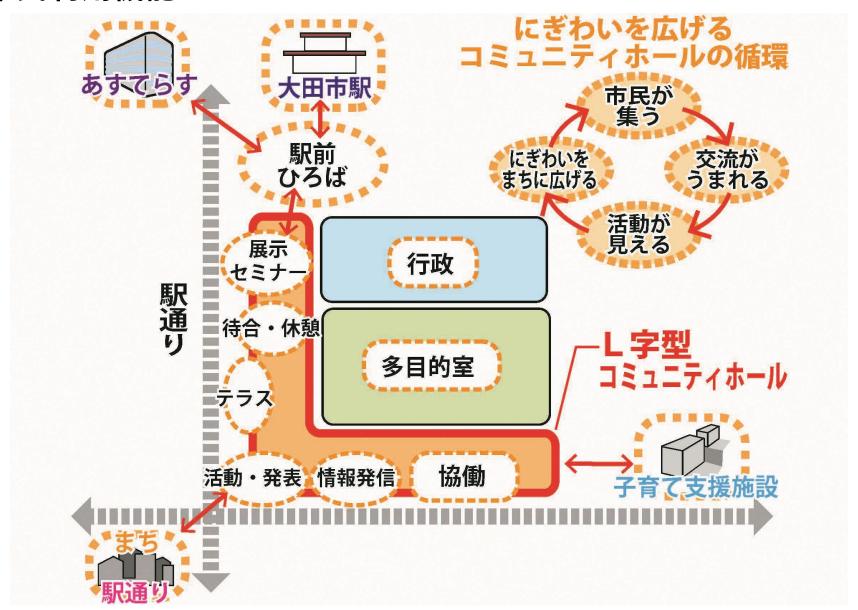


- ・駅通り側を市民利用空間とし、庁舎1階に平時・行事に使えるホール、多目的 室等を整備
- ・大田市駅~子育て拠点施設へのアクセスを考慮した動線



→駐車台数確保のため**立体駐車場を3階建てに** 

### 市民利用機能のイメージ



#### コスト削減に向けた取組の概要

基本計画では、一通りの機能を含めた前提で概算し、設計での検討を予定 →必要機能・規模を絞り込むことで、コスト削減に取り組んでいる

項目	金額(税込)
用地取得費	約0.4億円
設計・監理費	約3.3億円
庁舎建設工事費	約62.0億円
立体駐車場建設費	約8.0億円
外構整備費	約1.2億円
その他	約6.1億円
合 計	約81.0億円
想定面積	8,200m²

「よい庁舎」の ため活かす点



コスト減に向け 合理化する点



市民の利便性向上

にぎわい創出

職員が市民サービス向上に 取組みやすい執務環境整備

デザインの簡素化

省エネ・メンテナンス重視

部屋数、規模、入居職員数、 必要書類量などの精査

- ●設計での検討事項 → 現在、庁舎面積の15%程度を削減見込
- ・入居職員数の約15%減(既存施設の利用、DX等による合理化)
- ・会議室面積の約45%減(既存施設、議会関係諸室の利用)
- ・書庫、倉庫面積の皆減(外部プレハブ、既存施設の利用)

### 大田市新庁舎整備の検討体制

